

# 被ばく低減対策好事例集

場所		分類		R 3	③ 遮へい	番号	29-17
原子炉建屋内	RB	1	時間				
タービン建屋内	TB	2	距離				
R ZONE	R	3	遮へい				
Y ZONE	Y	4	線源の除去				
G ZONE	G	5	遠隔、ロボット化				
その他( )	Z	6	汚染拡大防止				
		7	その他				

内容	フランジタンク内β線遮へい			
作業部位	ヤード フランジタンク解体エリア			
概略	タンク内に作業員が入る際、底板をゴムマット、側板はコンパネ+アルミ板で遮へいした。			
評価 (定性・定量)	効果		対策前	対策後
		タンク内線量率(mSv/h)	89.4	2.4
		人工数(人日)	--	--

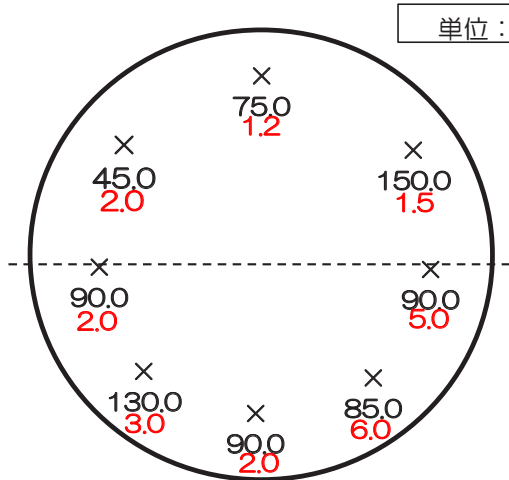
## 事例詳細

**対策前** タンク内はβ線量率が高く遮へいの必要があった。

**対策内容** タンク内に作業員が入る際、タンク内β線を遮へいするため底板はゴムマット、側板はコンパネ+アルミ板で遮へいした。

C10タンク内線量当量率測定結果  
 (測定場所・・・側板～50cm 床面～1.2m)  
 黒字：対策前 赤字：対策後

**対策：遮へい材の設置**  
 ・タンク底板にゴムマットを設置する。  
 ・タンク側板にコンパネ+アルミ板を設置する。



**低減効果 (線量当量率平均値)**  
 対策前：89.4mSv/h  
 対策後： 2.4mSv/h・・・97%低減